

レポート



研修テーマ

2月1日 福岡県田川郡添田町(ふくおかけん たがわぐん そえだまち)

○安心・快適な子育て支援の取り組みについて
道の駅: 歓遊舎ひこさん

2月2日 福岡県遠賀郡水巻町(ふくおかけん おんがぐん みずまきまち)

○町の魅力発信と活性化について

!COTTO!MIZUMAKI(いこっと!みずまき)



福岡県添田町

伊藤和利

福岡県の東南部に位置し、過去二度の合併を経て現在に至る添田町。森林率84%の山間地帯であり、平坦地に人口の70%が集中している。人口が年々減少し、少子高齢化が進んでいる。高齢化率45・4%。

添田町は、子育て支援連携システム「子育てねっとそえだ」に取り組み、地域ぐるみの子育てを実感できるまちづくりを目指している。行政担当課も「健康子育て応援課」とシステムにあった名称となっている。PCや携帯電話から情報にアクセスし、各施設からの連絡等の受信が簡単にでき、利用者も増加している。今の世代に柔軟な対応ができており、本村との課題が共通で、取り組みの必要性を強く感じました。

道の駅「歓遊舎ひこさん」は、町内で生産された新鮮な農林産物および加工品の販売、ふれあい体験等を通じ、都市との交流を深め、地域の活性化と地場産業の振興に寄与することを目的として設置され、年間30万人の来場者があり、農産物の検査も有資格者が実施をし、安心・安全なものを販売している。各種催し物の開催でも、子育て支援を実施し、町全体で取り組みが実施されている。

住みたい町、住み続けたい町の情報発信は、本村でも同様、未来に向けて取り組む課題の一つだと感じました。

議員行政視察



福岡県水巻町

服部高志

北九州市に隣接し、本村の半分以下の約11km²の面積に、人口約2万8000人が住まう水巻町。まさに「来てもらう・住んでもらう」を合言葉に、企業誘致や移住定住促進事業など様々な施策を実行されています。とりわけ、古家解体支援・定住促進支援・住宅金融支援機構連携事業はとて素晴らしく、限られた土地を有効活用し人口維持を目指す本村にとって、大変参考になる研修となりました。

また、地方創生交付金を活用し、平成30年に建設された周遊拠点施設「ICOTT O-MIZUMAKI」の視察では、スタートアップ事業者を応援する仕組みや、多くの誘客により「出店者よし！来場者よし！まちにとってもよし！」いわゆる三方よしを実現する事業形態を学ぶことができました。

第5次総合計画において、「ふれあいの郷再編」「古台ピラミッド公園再編」を掲げている飛鳥村。地域活性化や観光誘客に力を入れ始めた本村にとって、議員一同とても役立つ行政視察となり、今後の活動に生かしてまいります。



新しい飛島村の守護神 ただいま建設中です

海部南部消防署が建て替え工事中です。
南海トラフ地震、津波に耐えて、台風災害、豪雨災害にも耐えられる設計で、
飛島村(弥富市含む)の安心・安全を担います。
消防車庫がいち早く完成して、部分稼働しています。
車庫屋上が、津波到来時の消防車などの緊急車両退避場所になります。
来年度には完成します。もう少しお待ちください。



編集後記

今年はパリ五輪、アメリカ大統領選挙、そして新紙幣の使用開始など、イベントが目白押し。激動ではなく、感動、躍動の年にしたいです。
また3月現在、日経平均がバブル時の最高値を超え、4万円をうかがう勢いです。
議会だよりが発行される5月時点ではどうなっているのでしょうか。これが分かれば、みなさん億り人(※)ですね。
飛島村議会も、村と住民がwin winになるように、適切な予算執行、事業計画を進めていきます。
<MARIO>
※億り人…株式投資や暗号資産などで億単位の資産を築いた投資家のこと。

6月定例会 (会期 6月4日~21日)

- 6月4日 招 集 日 (10時00分)※
- 11日 総務経済委員会 (13時30分)
- 12日 文教厚生委員会 (13時30分)
- 19日 一 般 質 問 (13時30分)※
- 21日 最 終 日 (13時30分)※

以上の日程で開会します。
※の日程は1階ロビーで
TV傍聴もできます。

詳しくは
議会事務局まで